

MissingSource復元サービス

ソリューション概要のご紹介

長期稼働メインフレームシステム、 約8割※のお客様が抱えるソースコード消失

※2025年度当社モダナイゼーション商談における割合

ソースコード消失で生じる状況と課題



リホスト/リライトしたいシステム
のソースコードが見つからない...



リビルドしたいシステムの設計書も、
ソースコードも見つからない...

- ・ 再開発・テストしないとプログラムの移行ができない。
- ・ 設計書が復元できないため設計からやり直しになる。
- ・ 設計書がなければ設計からやり直しになる。



課題を解決し、モダナイゼーションを推進するには、
消失したソースコードの復元が不可欠です！



ソースコード復元によりモダナイゼーションの 長期化・費用増加リスクを低減

COBOLソースコードの復元で、
設計書の復元やJavaへの変換の可能性を拓く！

長年運用されてきたメインフレームにおいて、ソースコードが消失し、ロードモジュールのみが存在するプログラムは少なくありません。

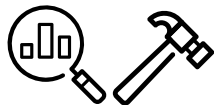
この「MissingSource復元サービス」は、当社のモダナイゼーションマイスター※が、富士通メインフレームの深い知見と長年の経験を活かし、お客様の貴重なCOBOLソースコード資産を復元する高度な技術により実現した当社独自の画期的なサービスです。

※ モダナイゼーションに関連する高度な知識や豊富な経験を持つ富士通の専門技術集団の名称本資料では以降、「マイスター」と称する。

```
101010101010100101010111
111001000110010101010
10010010010101001
0001000110001
0100010010101010
1010100011101
00010101010010101010101
000100110010100000010100
```

ロードモジュール

調査・変換



SID-010.
JKN-020.

```
IF M_KAKEK
ADD 1 TO A
IF JKN-020
MOVE SPACE TO SUPS
```

ERO

COBOLソースコード



3つの特長

1

富士通メインフレームを徹底調査

- 富士通メインフレーム※の特性をふまえ、システムの中に紛れ込んでいるソースコードを探索します。
- 事前調査では見つけにくいソースコードも徹底して、抽出します。

2

保守性を考慮したコード復元

- 失われたプログラム設計時の意図や開発者向けの情報を、残存する周辺情報をもとに再構築します。
- ロードモジュールの単純なリバースエンジニアリングで終わらせず、できる限り保守性を改善します。

3

マイスターのノウハウを注入

- 経験豊富なマイスターが、復元に必要な情報を探索・抽出しソースコード上に展開します。
- 資産の調査結果と、お客様のモダナイゼーション方針をふまえ、マイスターの知見をもとに最適な対応策を提言します。

※ 対象OS:MSP/XSP, 対象言語:COBOL/ASM

サービスの構成

MissingSource復元サービスは、ソースコードの復元要否・復元方法を明らかにする「**上流調査**」と、ソースコードを復元する「**COBOL復元**」で構成されています。



上流調査



富士通メインフレームの特性を熟知するマイスターがシステムの詳細調査を行い、ソースコードの復元要否・方法を提示します。

- メインフレームシステムの資産に混在しがちなソースコードの詳細探索を行うとともに、ロードモジュールの稼働状況を調査します。
- ソースコード復元後の保守性を高めるため、現行システム内の既存情報を周辺情報として収集します。
- お客様のモダナイゼーション方針と、調査結果をふまえ、ソースコードの復元要否・方法をご提示します。

COBOL復元



独自ツールとマイスターのノウハウで、現存するロードモジュールから、COBOLソースコードを復元します。

- ロードモジュールと周辺情報をもとに、COBOLソースコード（ロードモジュールに残っている純粋なロジック部分）を復元します。
- 保守性改善に向け、周辺情報から開発者向けの補足情報（変数名や定数名、データ構造など）の再現を試みます。

Road to 3X

Modernization

富士通の豊かな知見を束ねた、モダナイゼーションが示す道
DX SX GXまで伴走します。